



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 稲谷 和樹 (TEL) 06-6233-2636  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	14,399	0.1	1,074	56.8	1,068	68.4	705	82.6
2025年3月期第3四半期	14,391	△2.4	685	17.6	634	△50.1	386	△66.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 787百万円( 54.3%) 2025年3月期第3四半期 510百万円(△58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	91.24	—
2025年3月期第3四半期	49.97	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	12,118	4,909	40.5	635.33
2025年3月期	10,433	4,276	41.0	553.47

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 4,909百万円 2025年3月期 4,276百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,545	8.0	1,401	87.4	1,332	78.3	900	92.7
								116.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	7,850,000株	2025年3月期	7,850,000株
2026年3月期3Q	122,736株	2025年3月期	122,736株
2026年3月期3Q	7,727,264株	2025年3月期3Q	7,727,264株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等がされ、インバウンドによる消費の増加や個人消費の持ち直しもあり、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、米国の通商政策等による影響が一部に見られ、不安定な世界情勢、資源・エネルギー価格の高騰や継続的な物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、原料価格の高騰、物流コストや輸入仕入価格の上昇といった厳しい事業環境が続いております。そのような中、収益性を高める体質に変革を進めており、高付加価値商品の開発、仕入調達ルートの多角化、継続的な投資といった収益改善策を継続しつつ、お客様の要望をくみ取り応えるサービスを提供することに集中し、総合支援メーカーとして、当社グループの総力を結集し企業価値を高めてまいります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,399百万円（前年同期比0.1%増）となりました。利益面につきましては、原価改善に努めつつ、高付加価値商品の提供や複合販売に注力した結果、営業利益は1,074百万円（前年同期比56.8%増）、経常利益は1,068百万円（前年同期比68.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は705百万円（前年同期比82.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、商品や販促品の企画開発から、アSEMBリなどの生産支援、配送にいたるまで商品・サービスの提供をする事業であります。

資材や販促品キャンペーンを軸とする販売については、高付加価値商品のリピートはあるものの、販促企画案件について大口の減少を新案件で穴埋めできなかったことで前年同期を下回りました。OEMについては、自社工場を活用した雑貨や化粧品等のピロー包装やアSEMBリ作業は順調に推移しており、日用雑貨品の充填等についてもエンドユーザーへの複合販売を強化推進したことで受注が増加し前年同期を大きく上回りました。また発送代行については、環境の変化による通数の減少があるものの、ゆうメール案件数の増加があり前年同期を上回りました。しかし収益認識基準による相殺額の増加により売上への寄与が小さくなったことから結果的には前年同期を下回りました。

利益面につきましては、高付加価値商品の販売が拡大したこと、またアSEMBリ案件の増加に伴う自社工場の稼働率が高かったことから、セグメント利益額、利益率ともに増加いたしました。

その結果、売上高は7,575百万円（前年同期比5.9%増）、セグメント利益は674百万円（前年同期比109.4%増）となりました。

#### (商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップ、ドラッグストアなどの小売販売店に向けて、商品を企画提案し、製造・調達し、提供する事業であります。

100円ショップ向けについては、環境対応型商品の投入や消臭袋及び鮮度保持袋に代表される付加価値の高いポリエチレン製品を中心として堅調に推移し、また新商品において機能性・利便性・アイディア性といった付加価値の高い雑貨商品の売上も好調でありました。しかしながら、定番商品において市場環境の変化や価格競争の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。量販店向けについては、ポリエチレン製品は100円ショップ向け同様安定した売上があるものの、収益性を高める方針のもと低利益率の商品の販売を縮小していることが影響し減少となりました。

利益面につきましては、より収益性の高い商品や市場価値に合った商品の投入を引き続き進めていったこと、またサプライヤーの多角化を行うといった原価低減に努めたことから、セグメント利益額、利益率ともに増加いたしました。

その結果、売上高は6,886百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益は400百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は12,118百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,684百万円増加しました。これは主に現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は7,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,051百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金や借入金が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は4,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ632百万円増加しました。これは主に利益剰余金等が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,110,707	1,998,698
受取手形及び売掛金	2,363,294	2,633,415
電子記録債権	701,026	733,603
商品及び製品	1,692,345	1,659,492
仕掛品	170,947	180,881
原材料及び貯蔵品	399,696	524,478
その他	198,540	225,971
貸倒引当金	△3,765	△4,411
流動資産合計	6,632,794	7,952,129
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,510,513	1,506,763
その他（純額）	1,262,785	1,255,869
有形固定資産合計	2,773,299	2,762,632
無形固定資産		
その他	48,733	189,348
無形固定資産合計	48,733	189,348
投資その他の資産		
その他	1,017,603	1,215,394
貸倒引当金	△38,800	△1,346
投資その他の資産合計	978,803	1,214,048
固定資産合計	3,800,836	4,166,029
資産合計	10,433,630	12,118,159
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,118,716	1,213,346
短期借入金	2,330,000	3,160,000
1年内返済予定の長期借入金	312,357	315,763
未払法人税等	120,997	213,219
未払消費税等	58,100	89,478
賞与引当金	122,779	85,140
その他	425,886	598,079
流動負債合計	4,488,837	5,675,027
固定負債		
長期借入金	1,110,841	929,310
退職給付に係る負債	60,655	54,697
長期末払金	137,022	137,022
その他	359,461	412,724
固定負債合計	1,667,979	1,533,754
負債合計	6,156,816	7,208,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	2,238,836	2,789,339
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	3,705,285	4,255,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211,542	273,400
繰延ヘッジ損益	△1,308	18,712
為替換算調整勘定	361,294	361,475
その他の包括利益累計額合計	571,528	653,587
純資産合計	4,276,814	4,909,376
負債純資産合計	10,433,630	12,118,159

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	14,391,261	14,399,090
売上原価	11,150,346	10,806,811
売上総利益	3,240,915	3,592,278
販売費及び一般管理費	2,555,522	2,517,461
営業利益	685,393	1,074,816
営業外収益		
受取利息	1,092	447
受取配当金	9,793	30,763
為替差益	-	1,675
デリバティブ評価益	-	4,443
資材売却収入	3,962	3,970
その他	8,159	7,374
営業外収益合計	23,007	48,674
営業外費用		
支払利息	20,038	47,056
デリバティブ評価損	37,217	-
貸倒引当金繰入額	△1,566	0
その他	18,394	8,301
営業外費用合計	74,083	55,357
経常利益	634,317	1,068,132
特別利益		
固定資産売却益	198	-
特別利益合計	198	-
特別損失		
固定資産除却損	2,899	13,207
特別損失合計	2,899	13,207
税金等調整前四半期純利益	631,616	1,054,925
法人税、住民税及び事業税	197,968	320,556
法人税等調整額	47,554	29,319
法人税等合計	245,523	349,876
四半期純利益	386,092	705,048
親会社株主に帰属する四半期純利益	386,092	705,048



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	386,092	705,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,979	61,857
繰延ヘッジ損益	△582	20,020
為替換算調整勘定	87,528	181
その他の包括利益合計	123,924	82,059
四半期包括利益	510,017	787,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	510,017	787,107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援事業	商品販売事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,153,158	7,238,103	14,391,261	14,391,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	108,395	108,395	108,395
計	7,153,158	7,346,499	14,499,657	14,499,657
セグメント利益	321,966	363,426	685,393	685,393

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援事業	商品販売事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,575,546	6,823,543	14,399,090	14,399,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	63,038	63,038	63,038
計	7,575,546	6,886,582	14,462,128	14,462,128
セグメント利益	674,244	400,571	1,074,816	1,074,816

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	136,948千円	173,101千円